

金沢学院大学

2024 (令和 6) 年度 入学者選抜試験問題

一般選抜 I 期 < 3 日目 >

2024 年 2 月 2 日 (金) 実施

日本史

I 注意事項

1. 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 解答用紙の解答科目欄に「日本史」と記入・マークしてから解答してください。
3. 問題は 1 ページから 8 ページまであります。
4. 問題は持ち帰ってもよいですが、コピーして配布・使用することは法律で禁じられています。

II 解答上の注意

解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の 2 種類があります。マーク式の問題で、「解答番号は 」と表示のある問いに対して④と解答する場合は、下記の例のようにマークしてください。記述式の問題には「解答は 」と表示がありますので、記述式の解答用紙に記入してください。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

問題は次のページからです。

第1問 次の史料文を読み、下の問いに答えよ。

(寛仁二年十月)十六日乙巳、今日、女御(A)藤原威子を以て(ア)に立つるの日なり。(中略)(B)太閤(C)下官を招き呼びて云く、「和歌を読まむと欲す。必ず和すべし。」者。(中略)「此の世をば我が世とぞ思ふ(イ)のかけたることも無しと思へば」。余申して云く、「御歌優美なり。酬答に方無し。満座只この御歌を誦すべし。(中略)」と。

(『小右記』)

問1 文中の(ア)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 内親王 ② 東宮 ③ 女院 ④ 皇后

問2 文中の(イ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 莊園 ② 中宮 ③ 天下 ④ 望月

問3 文中の下線(A)が妃となった天皇として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。
解答番号は

- ① 後一条天皇 ② 宇多天皇 ③ 清和天皇 ④ 高倉天皇

問4 文中の下線(B)は下線(A)の父で、甥の藤原伊周との争いに勝って内覧となり、また天皇の外戚として権勢をふるった。その人物として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 藤原実資 ② 藤原道長 ③ 藤原良房 ④ 藤原頼通

問5 文中の下線(B)が記したもので、自筆原本が現存し、ユネスコの「世界の記憶」にも登録されている日記として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 『大鏡』 ② 『御堂関白記』 ③ 『土佐日記』 ④ 『蜻蛉日記』

問6 文中の下線(B)の子が宇治に建立し、定朝作の阿弥陀如来像を本尊とする建築物として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 中尊寺金色堂 ② 法界寺阿弥陀堂 ③ 平等院鳳凰堂 ④ 蓮華王院本堂

問7 文中の下線(C)はこの史料文を記した人物であるが、その人物として適当なものを、
①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 藤原実資 ② 藤原道長 ③ 藤原良房 ④ 藤原頼通

問8 この史料文が書かれた摂関政治期の政治に関する説明として**適当でないもの**を、①～
④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 摂政は天皇の幼少時にその政務を代行し、関白は天皇の成人後にその後見役として政治を補佐した。
② 摂関政治のもとでも天皇が太政官を通じて中央・地方の官吏を指揮し、全国を統一的に支配する形がとられた。
③ 地方政治を改革することに力を入れ、国司交替の際の事務引継ぎを厳しく監督するため勘解由使を新たに設置した。
④ 外交や財政など国政に関わる重要な問題については、陣定と呼ばれる会議で公卿の意見が求められた。

問9 この史料文が書かれた摂関政治期の信仰に関する説明として**適当でないもの**を、①～
④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 天台宗・真言宗が圧倒的な勢力をもち、現世利益を求める貴族と強く結びついた。
② 神仏習合が進み、神を主として仏を従とする神本仏迹説(反本地垂迹説)が生まれた。
③ 疫神や怨霊をまつることで疫病や飢饉などから逃れようとする御霊信仰が広まった。
④ 法華経などの経典を書写し、経筒におさめて地中に埋める経塚が各地に営まれた。

第2問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

16世紀前半、(A)近畿地方では室町幕府の主導権をめぐり、細川氏を中心とする内部の権力争いが続いた。一方、他の地域では、みずからの力で領国(分国)をつくり上げ、独自の支配をおこなう地方権力として(B)戦国大名が誕生する。戦国大名の中には、守護代や(C)国人から身をおこしたものが多い。戦国時代には(D)守護職のような古い権威だけでは通用しなくなり、戦国大名として権力を維持していくためには、新しい軍事指導者・領国支配者としての実力が求められた。

戦国大名は新しく服属させた国人たちとともに、各地で成長の著しかった地侍を家臣に組み込んでいく。これらの国人や地侍たちは収入の額を銭に換算した(ア)という基準で統一的に把握され、その地位・収入が保障されるかわりに、大名に対して(ア)にみあった一定の軍役を負担することとなった。(E)大名は家臣団に組み入れた多数の地侍を有力家臣に預ける形で組織化し、これが大名の軍事力となる。

また、戦国大名には、家臣団統制や領国経営などのため、領国支配の基本法である(F)分国法(家法)を制定するものもあった。分国法では、家臣同士が勝手に兵を動かす私合戦をきびしく禁止し、喧嘩両成敗を適用して領内の平和を確保するとともに、所領の相続・売買や婚姻などを規制したり、農民の逃散が禁止されたりした。

問1 文中の(ア)に適切な語句を、漢字2文字で答えよ。解答は 記述式解答用紙

問2 文中の下線(A)について、1493(明応2)年の明応の政変で幕府の実権を握った細川氏から、その後の権力争いを経て実権を奪った細川氏の執事であった人物として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 10

- ① 陶晴賢 ② 松永久秀 ③ 三好長慶 ④ 山名持豊(宗全)

問3 文中の下線(A)の細川氏は堺商人と結び、日明貿易の主導権をめぐって、博多商人と結ぶ大内氏と激しく争い、1523(大永3)年に双方の船団が衝突する事件がおこった。この事件の名称として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 11

- ① 三浦の乱 ② 寧波の乱 ③ 宝治合戦 ④ 応永の外寇

問4 文中の下線(B)は城郭を中心に家臣団や商工業者を集住させて城下町を建設したが、戦国大名(X)と城下町(Y)の組み合わせとして**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 12

- ① X:朝倉氏 Y:一乗谷 ② X:今川氏 Y:府中(駿府)
③ X:大友氏 Y:豊後府内 ④ X:北条氏 Y:鎌倉

問5 文中の下線(C)でありながら、土佐国を統一して戦国大名に成長したが、1585（天正13）年に豊臣秀吉に降伏して臣従した戦国大名として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 長宗（曾）我部元親
- ② 富樫政親
- ③ 畠山義就
- ④ 毛利元就

問6 文中の下線(D)出身で戦国大名に成長した大名家として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 浅井氏
- ② 今川氏
- ③ 島津氏
- ④ 武田氏

問7 文中の下線(E)の制度の名称として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。
解答番号は

- ① 氏姓制度
- ② 地方知行制
- ③ 場所請負制
- ④ 寄親・寄子制

問8 文中の下線(F)として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 『禁秘抄』
- ② 『塵芥集』
- ③ 『樵談治要』
- ④ 『梁塵秘抄』

第3問 次の表は、江戸時代に流通した小判に関する表である。この表について、下の問いに答えよ。

	小判の種類	鑄造年	1枚当たりの重量(匁)	金の成分比(%)
I	慶長小判	1601(慶長6)年	4.73	86.28
II	元禄小判	1695(元禄8)年	4.75	56.41
III	宝永小判	1710(宝永7)年	2.49	83.40
IV	正徳小判	1714(正徳4)年	4.75	85.69
V	享保小判	1716(享保元)年	4.74	86.14
VI	元文小判	1736(元文元)年	3.48	65.31
VII	文政小判	1819(文政2)年	3.49	56.05
VIII	天保小判	1837(天保8)年	3.00	56.77
IX	安政小判	1859(安政6)年	2.40	55.50
X	万延小判	1860(万延元)年	0.88	57.25

(注) 重量の単位「匁」は1匁=3.75グラム。また、成分比は幕府が公定した品位による。(財団法人大蔵財務協会編『日本通貨変遷図鑑』(財団法人大蔵財務協会、1957年)を基に作成)

問1 表中のIからIIへの改鑄を提言した人物として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 新井白石 ② 荻原重秀 ③ 田沼意次 ④ 水野忠邦

問2 表中のIからIIへの改鑄は幕府財政の収入増加策であったが、この頃の財政圧迫の要因として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 打ちこわしの頻発による江戸・大坂などの荒廃
 ② 鉄砲・火薬や中国産の生糸などをもたらした南蛮貿易
 ③ 佐渡金山などの鉱山における金銀産出量の減少
 ④ 閑院宮家の創設にともなう朝廷関係経費の増大

問3 表中のIIが鑄造された年の将軍として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 徳川家斉 ② 徳川家茂 ③ 徳川綱吉 ④ 徳川吉宗

問4 表中のIVへの改鑄を建議した人物として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① 新井白石 ② 荻原重秀 ③ 田沼意次 ④ 水野忠邦

問5 表中のIVへの改鑄を建議した人物は、多くの金銀が海外へ流出していることを問題視して長崎貿易の貿易額を制限したが、その内容として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① イギリス船は年間2隻で、銀高にして6000貫に制限した。
② オランダ船は年間2隻で、銀高にして6000貫に制限した。
③ 明船は年間30隻で、銀高にして6000貫に制限した。
④ 清船は年間30隻で、銀高にして6000貫に制限した。

問6 表中のVが鑄造された年の将軍として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① 徳川家斉 ② 徳川家茂 ③ 徳川綱吉 ④ 徳川吉宗

問7 幕府は金を中心とする貨幣制度への一本化を試みて定量の計数貨幣である南鐐二朱銀を鑄造したが、表中のV～IXの鑄造年を参考に、この南鐐二朱銀が鑄造されはじめた時期として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① VとVIの間 ② VIとVIIの間 ③ VIIとVIIIの間 ④ VIIIとIXの間

問8 表中のXが鑄造された年の将軍として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① 徳川家斉 ② 徳川家茂 ③ 徳川綱吉 ④ 徳川吉宗

問9 表中のXが鑄造された年の出来事として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① 徳川斉昭・徳川（一橋）慶喜・松平慶永らが幕府から隠居・謹慎を命じられた。
② 幕府は生糸・水油などの5品を、必ず江戸の間屋を経て輸出するように命じた。
③ 幕府は異国船打払令を緩和し、漂着した外国船に薪や水・食料を与えることにした。
④ 老中安藤信正が江戸城坂下門外で水戸脱藩士らに傷つけられ、老中を退いた。

第4問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

文明開化期の啓蒙主義や西洋思想導入の動きは自由民権運動に継承されたが、明治10年代後半の朝鮮問題をきっかけに、民権論者の間にも国権論を唱えるものが現われた。欧化主義と国権論は条約改正問題を機にさらに鋭く対立し、平民的欧化主義を唱えた（ア）らは民友社を設立し、近代的民族主義を主張した（イ）らは政教社を設立して、両者の間で論争が展開された。

明治前期、政府は欧米諸国から学者を招くとともに欧米に留学生を派遣して、近代的学問の導入をはかったが、やがて日本人自身による教育や専門研究がなされるようになった。経済学ではまずイギリスの経済学が導入されたが、やがてドイツの保護貿易論や社会政策の学説などが主流となった。法律学の分野では(A)民法典論争を契機にドイツ法学が支配的となり、哲学でもドイツ哲学が優勢となった。(B)日本史や日本文学などの分野でも、西洋学問の研究方法が導入されて科学的研究が始まり、従来の国学者の研究を一新した。

文学では江戸時代以来の戯作文学が明治初期にも人気を博し、また自由民権論や国権論の高まりを背景に政治小説が書かれていた。これらの勸善懲悪主義や政治至上主義に対し、坪内逍遙は（ウ）を発表して、西洋の文芸理論をもとに人間の内面や世相を客観的・写実的に描く写実主義を提唱した。

美術の面では、明治政府は初め工部美術学校を開いて外国人教師に西洋美術を教授させたが、やがて岡倉天心や（エ）の影響のもとに、伝統美術育成の姿勢に転換した。(C)西洋画は、一時衰退を余儀なくされたが、次第に盛んになった。

問1 文中の（ア）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 北一輝 ② 堺利彦 ③ 徳富蘇峰 ④ 三宅雪嶺

問2 文中の（イ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 北一輝 ② 堺利彦 ③ 徳富蘇峰 ④ 三宅雪嶺

問3 文中の（ウ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 『浮雲』 ② 『小説神髓』
③ 『文明論之概略』 ④ 『破戒』

問4 文中の（エ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① キヨソネ ② フェノロサ ③ フォンタネージ ④ モース

問5 文中の下線(A)の内容について、下記の2語を使用して60字以内で説明せよ(ただし、句読点を含む)。使用する順番は問わない。また、必要であれば同じ言葉を繰り返して使用してもよい。解答は

使用する言葉： 家族道徳、ポアソナード

問6 文中の下線(B)に関連して、東京帝国大学に設置された史料編纂掛で編纂が始められた史料集で、六国史のあと、887(仁和3)年から明治維新までの日本史関係基礎史料をまとめたものとして適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 『大日本史料』 ② 『大日本史』 ③ 『類聚国史』 ④ 『群書類従』

問7 文中の下線(C)に関連して明治時代の西洋画の説明として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 「生々流転」などの作品で知られる横山大観は、日本美術院を再興し、また院展を盛んにした。
- ② 「湖畔」などの作品で知られる黒田清輝を中心に白馬会が結成され、画壇の主流を形づくった。
- ③ 西洋画の在野勢力として二科会や春陽会が創立され、安井曾太郎・梅原龍三郎らが活躍した。
- ④ ロダンに学んだ高村光雲は西洋流の技法を取り入れ、「老猿」を制作した。

**2024(令和6)年度 金沢学院大学
一般選抜 I 期 (3 日目 / 2024年2月2日実施)
解答例【マーク式】**

日本史							
解答番号		正解	配点	解答番号		正解	配点
第1問	1	④	3	第3問	17	②	3
	2	④	3		18	③	3
	3	①	3		19	③	3
	4	②	2		20	①	3
	5	②	3		21	④	3
	6	③	2		22	④	2
	7	①	3		23	②	3
	8	③	3		24	②	2
	9	②	3		25	②	3
第2問	10	③	3	第4問	26	③	3
	11	②	3		27	④	3
	12	④	3		28	②	3
	13	①	3		29	②	3
	14	①	3		30	①	3
	15	④	3		31	②	3
	16	②	3				

マーク	89
記述	11
計	100

2024年2月2日(金)

解答例

2024(令和6)年度 一般選抜I期 <3日目>

記述式解答用紙 「日本史」

受験番号		氏名	
志望学科	学科	専攻	専攻

※専攻は「文学科」「教育学科」受験の場合に記入してください。

第2問 問1

貫高

配点 4 点

第4問 問5 (横書き)

ボ	ア	ソ	ナ	ー	ド	が	起	草	し
た	フ	ラ	ン	ス	法	系	民	法	は
個	人	主	義	的	で	あ	り	、	家
族	道	徳	な	ど	日	本	の	伝	統
的	倫	理	を	損	な	う	と	の	批
判	が	起	こ	っ	た	。			

60

配点 7 点